

ヘバーデン結節や CM 関節症で モヤモヤ血管への動注治療を検討されている方へ

ヘバーデン結節や CM 関節症などの手の痛みの治療として、朝来ふじい整形外科クリニックでは「動注治療」という特殊な治療を行なっています。

この治療はオクノクリニックの奥野先生によって 2014 年に開発されたものです。当院ではオクノクリニックとライセンス契約を結び、この治療を行っています。

この治療は 5 分から 10 分ほどで終了する治療法です。非常に細い針を、肘や手首にある動脈内に挿入し、そこから抗生物質でできた粒子（一時的塞栓物質）を投与方法です。
3～5 分ほどの短い時間の圧迫ですぐに帰宅することが可能です。当日のシャワーや入浴は制限なくお入りいただけます。

針は細いため痛みは少ないです。薬剤を流す際に、親指、人差し指、中指、手のひらなど順番に薬剤が広がっていきます。通常であれば薬指や小指にも薬剤が届きます。薬剤が各部位に届いたときに、「熱い」や「ピリピリする」などの違和感や軽い痛みがある場合がほとんどです。これは短い時間の一時的なもので全く問題ありませんのでご心配なさらないでください。また、薬剤の届いた部位の肌の色が変化しますがこれも一時的な現象です。

痛みが全くない人にはお勧めしていません。また、第 2 関節に痛みがある人は、第 1 関節に痛みがある人に比べると、少しだけ効果が低い傾向があります。

これまでに受けられた方の治療効果を調査した結果、治療前の痛みと比較して痛みが半分以下になったと答えた方が約 7 割いらっしゃいました。また、9 割の方が何らかの改善を実感されていることがわかっています。しかし、完全に痛みがゼロになったという方は少ないのが実情です。このため、痛みをゼロにする治療ではなく、強い痛みを和らげる治療ととらえていただけたらと思います。治療効果が出てくる時期は、治療後すぐではなく、治療の 3～4 週間後から現れている方が多いです。

動注治療をご希望される方は、別紙（説明・同意書）に挙げた副作用の可能性についても説明を受け、ご理解いただいたうえで、受けていただきますようお願いいたします。